

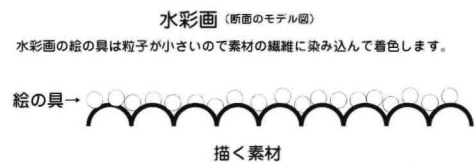
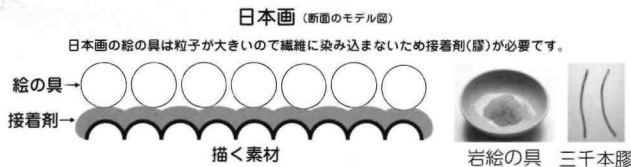
なぜ?なに?相談室

江戸時代の絵は、私たちの学校で描く水彩画とは違うけど、どんな特徴があるのかな?



江戸時代の絵のほとんどは、^{にかわ}膠で溶いた絵の具を使って描かれた絵で、このような描き方の絵を日本画というんだ。日本画と水彩画の違いを下の表にまとめたよ。

	日本画	水彩画
絵の具の原料	主に ^{とうぶつ} 鉱物	主に樹脂(アラビアゴム)と顔料
絵の具の種類	^{いわえ} 鉱物を砕いた岩絵の具や貝殻を細かく砕いた ^{ごぶん} 胡粉など。1種類の絵の具で1色のみしかできない。	アラビアゴムの量の違いで、透明水彩絵の具と不透明水彩絵の具がある。何種類も混ぜ合わせたら、いろいろな色ができる。
溶かすもの	^{にかわ} 膠	水
色が着くしくみ。	^{にかわ} 膠とまぜて描くことで、膠が接着剤の役割をする。	水と一緒に紙の ^{せんい} 繊維に染み込んで、乾くと色がつく。(牛乳パックの裏に描くと染み込まないので、描けない)
描く素材	和紙や絹	紙



日本画の特徴

絵の具など

^{いわえ} 岩絵の具	鉱物を(岩石や金属) ^{くだ} 砕いて粉にしたものだよ。例えば ^{しんしゃ} 辰砂は赤色。 ^{くじやくいし} 孔雀石が緑色。 ^{らん} 藍銅鉱が青色になるよ。(写真左)
^{せん} 染 ^{りょう} 料	植物から作られるよ。 ^{べにはな} 紅花が艶紅。 ^{あゐ} 藍が青黛。 ^{とうおう} ガンボーシの樹脂が藤黄色だよ。
^ご 胡 ^{ぶん} 粉	貝殻を ^{くだ} 砕いて粉にしたものだよ。白色で下地として使ったりするんだ。

接着剤

^{にかわ} 膠	動物や魚の骨や皮などのコラーゲンをゼリー状にして固めたものだよ。お湯で温めて溶かして使うんだ。絵の具の接着剤としての役割を果たすんだ。(写真右)
------------------	--

描く素材

絹	^{えきめ} 絵絹といって、平織りの絹に描くよ。絵の具を直接つけるとはじくので、膠にミョウバンを混ぜたもの ^{どうざ} (礬水)を使って、にじみを ^{ひせ} 防ぐんだ。絹に描かれた絵を「 ^{けんぽん} 絹本」というんだ。
和紙	日本画で最も使われるんだ。原料は、 ^{こうそ} 楮、 ^{がんび} 雁皮、 ^{みつまた} 三椏などの繊維。材料によって厚さや色、きめの細かさなどが違って、使い分けて使うよ。紙に描かれた絵を「 ^{しほん} 紙本」というんだ。

わあ。自然のものをいっぱい使って、色を着けるんだね。秋に博物館でたくさん日本画が展示されるみたいだから、実際に見ることができよね。みんなで行ってみよう!

